

保護者各位

令和2年度 自己評価の報告について

令和2年4月7日に、日本政府より新型コロナウイルス感染拡大防止策対策として、7都道府県に緊急事態宣言が発令され、東京・埼玉・神奈川に隣接する山梨県でも、知事により宣言が発令されました。これにより、年度始めから保護者の皆様には登園自粛をお願いする事となり、例年では考えられないような異例のスタートを切る形となりました。今ではワクチンなどの開発も進み、優先順位をつけて徐々に接種が開始されておりますが、その当時は未知のウイルスという感じで、子ども達を預かる保育現場としては、常に不安と心配を抱えていたというのが正直なところです。幼稚園や小中高の公立学校・大学などの休校に伴い、近隣市町村でも保育園の休園を決定していた中、甲府市では保育園の休園措置は行いませんでしたので、当園でも行政の指示に従い、働く親のために継続して開園を続けていました。緊急事態宣言の際に、自粛のご協力をして下さったご家庭には、感謝と御礼を申し上げます。兎にも角にもコロナ一色の一年間となってしまいましたが、それを踏まえ自己評価を行っていきたいと思います。

まずは衛生面となりますが、通常行っている基本的衛生管理に加え、今年度はウイルス対策の一環として、アルコールなどの手指消毒の設置個所増設と、各クラスへのアルコール消毒を配布し使用するようになりました。また、前年度同様に引き続き、人体に害のない殺菌作用のある業務用の加湿器も各クラスで使用し、園内で感染症が蔓延しないようにも気を配りました。子ども達へは、子ども同士のタオルが互いに触れ合わないようにするため、タオル掛けを変更し、専用の接触ガードを取り付けました。新型コロナウイルス感染拡大の際には、集団生活であることを配慮させて頂き、登園時の検温をお願いしました。また、次年度に向けては布団なども触れ合わないようにするため、スタッキングベッドを購入し、次年度からの導入に向けて準備をすすめております。その他の衛生面では、行事の際に保護者各位にご協力を頂き、人数制限やソーシャルディスタンスをお守り頂き、マスク着用や各所での手指消毒を行いながら行事を開催致しました。また、生活発表会の待機場所などは簡易ストーブなどを複数台設置させて頂き、戸外の換気の良い場所での待機をお願いしました。通常保育時には、送迎の保護者を限定させて頂き、緊急時以外で外部からの園内出入りが無い様にお願いをしました。また、普段から園に立ち入りの無い業者や、外部からの訪問があった際には、体調チェック表の記入や、マスク着用、検温・消毒などを厳守して頂き、子ども達の部屋へ入室がないようにしました。

遊びの環境作り面では、数年前の台風により園庭近くの大木が無くなり、木陰が減ってしまったので、園庭に三ヶ所パラソルを設置して日陰を作り、夏でも安心して遊びに取り組めるよう配慮しました。また、各クラスで興味のある図鑑や本などを新たに取揃え、自由遊びや読み聞かせの際などに活用できるようにし、興味のある様々な事柄に探求心を持てるようにしました。玩具などは、想像力や創作意欲が育つよう、使い次第でどんな形にでも作成できるブロックを使用したり、ごっこ遊びなどにのめり込めるように、リアリティーのある知育玩具や、見て楽しい人気キャラクターの玩具・遊具などを取り入れたりも入れました。

体力作りでは、体育遊びと体操教室を引き続き行い、楽しく基礎体力を付けられるよう取り組んでおります。また、コロナの影響で人混みのあるレジャースポットなどへも出かけられず、子ども達もストレスが溜まってしまうので、日中の戸外活動を存分に取り入れて対応してきました。乳児クラスでは、長時間の戸外活動は難しいので、時間を決め戸外活動を行うようにし、それに加え広い部屋を活用して思い切り体を動かせるよう、遊びの展開をしていくことに心掛けました。リズムに合わせて踊るなど、興味を持って行える活動も行ってきました。また、幼児クラス等では日々の戸外活動に加え、縄跳びや鉄棒、屋内・屋外のルールある遊びなどを取り入れ、自分たちの体と脳の成長が感じられ、達成感を得られるようにしていきました。

この一年の自己評価となると、限られたスペースでは記入しきれませんが、HPやお便りなどでも発信しておりますので、言葉足らずなところはご了承いただければと思います。とにかくコロナで悩まされた1年でしたが、何事も無く皆が健康にいられた事が何よりの救いです。一年間、誠にありがとうございました。

令和2年度に取り組んだこと	
子どもに対して	<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関と関わり、アドバイスを頂きながら職員会議にて話し合い、職員全体が一人一人の子どもを把握していった。また、共通理解のもとに子どもと関わっていった。 ・楽しく食事を行えるよう食育やリクエスト給食などを行った ・健康に配慮し、うがい・手洗いを促した。室内の設備においては、空気清浄機や加湿器等を設置し、室内温度・湿度なども配慮を行った。また、各所アルコール消毒など行った。 ・楽しんで体力作りが行えるよう環境を整えた。 ・子ども達をよく褒め、保育園が嫌にならないよう努めていった。 ・保育園だからこそ出来る事を大切にした。
保護者に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が仕事に専念出来るよう早朝7時～夜19時まで開所し、子どもを預かった。 ・子どもの体調変化を見極め、具合が悪い時は即座に保護者へ知らせていった。 ・保護者と話をする際には、明るく保護者の立場になって話を行った。 ・家庭での様子も伺いながら、共通理解のもと、子どもを育てていけるよう心掛けた。 ・園でどの様な感染症が園で流行っているかをメールにて伝えていった。 ・ホームページを活用し、園だより・クラスだより・写真などをアップロードして園の様子を知らせていった。 ・給食の写真を保育園入口に毎日提示し、子ども達がどのような食品を食べているのか紹介した。
組織として	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の安全に配慮し、職員全体が研修を行い自己研鑽に取り組んでいった。 ・挨拶を忘れず笑顔を中心掛けた。 ・職員間が明るい雰囲気の中で人間関係を築いていった。 ・お互いを認め合い、助け合いの心を忘れずに協力しながら保育を行っていった。 ・保育に関わる活動内容などを話し合い、連携を持って保育が進められるように努めた。 ・子どもが楽しんで生活できるように、ひとりひとりの子どもの気持ちに寄り添う心掛けをした。

●令和3年度に取り組みたい事

- ・挨拶が出来る子どもにする。「ありがとう」「ごめんない」という言葉や、優しさや思いやりを持てる様に育てていく。また、良い事と悪い事の区別をきちんと教える。
- ・すべての子どもに対して、良いところを見つけ、伸ばしてゆく。
- ・保護者との連携をしっかりと図り、心と体の自立を促す。また、健康と安全に配慮する。
- ・職員全体が研鑽し、質の向上に努める。
- ・様々な事柄に興味を持った子どもの気持ちに対し、その気持ちを尊重しながら幅の広い保育や教育を行う。
- ・専門機関等と連携とり、子どもが安全かつ、安心して過ごせるようにする。個々に見合った自立を支援、援助していく。
- ・日中仕事をしている保護者の代わりに家庭的な保育を行う。
- ・子どもは子どもらしく育てる
- ・体を動かし体力作りを行う。また、季節を感じられる保育を取り入れる。
- ・失敗を恐れず、新しい事へ挑戦していく

●アンケートの返答（順不同で要点のみを記入します）

- ・乳児の水着着用についてですが、新年度に向けての話し合いが行われますので、その際にご意見があった事を踏まえ話し合いたいと思います。インターネット掲載については、日々の様子を見て頂きたく、保護者のみの閲覧となっておりますが、今後保護者が不快に思うのであれば、プール等の写真掲載は行わないようにいたします。
- ・連絡帳についてですが、なるべく子ども達の様子がわかるようにはしていきたいと思います。クラスでは、毎日保護者からのコメントはチェックしていますので、保護者側からもどんな様子なのかを聞いて頂けると助かります。現場の職員もギリギリの人数で行っているため、思う様に発信が出来ない所が多々あります。声を掛けて頂いたり、連絡帳にて様子を聞いていただければお伝えするように致しますので、何卒宜しくお願い致します。
- ・HPの写真スライドの件ですが、業者さんに希望を出し、改善させて頂きました。閲覧・ご確認してみてください。
- ・親子遠足、家族の日について、基本的に今年は「行事をする」という事で行って来ました。親子遠足も出来なくて残念でしたが、コロナ禍が落ち着けば様子を見ながら通常に戻って行くと思います。家族の日を楽しみにして頂いていたのに申し訳ありませんでした。毎年、一生懸命作成していましたが、保護者の方の反応も薄く、中には帰宅後すぐに捨ててしまうというような事も耳にしたこともあり、園側もどのようにしていけば良いかを悩んでいました。需要があり、喜んでいただけるのであれば、園としても行いたいです。行事のお土産の件（壊れやすい）に関しては、保護者会からの配布となるものがほとんどです。次年度の役員会に意見を持ち上げさせて頂きます。
- ・行事の家族参加について、コロナ禍が落ち着き次第、兄弟姉妹・祖父母などの参加も可能になると思いますので、今しばらくお待ちください。何卒ご理解ご協力をお願い致します。
- ・職員の態度にムラがあるとの事で、真摯に受け止め改善に努めて参ります。体温計を非接触型にしてほしいとの事ですが、知り合いのテルモに勤める方に体温計についてのご意見を聞きしたところ、非接触型のタイプは脇に挟むタイプと比べると体温が高めに出たり、ムラが出てしまったりするため「朝の検温には向いていない」とのご助言を頂きました。時間短縮の面では好ましいとは思われますが、非接触型体温計の精度があがるまで、当面お問脇に挟むタイプを使用させて頂き下さい。
- ・園だよりの行事記載について、園だよりに翌月の大きな行事を記載して欲しいとの事で、次年度から出来る限り配慮させていただきます。基本的には保護者へお渡ししてある「年間行事」をご覧いただければ日には記載してあります。
- ・子どもの発達に応じた行事への参加に関しては、子どもの様子を見ながら、保護者とも相談をさせて頂き判断しております。現状では、参加している行事が大半ですが、園側も子ども達が皆で参加できるように配慮と努力はしております。また、子どもの不参加を提案する際は、私達も保護者と同じ悲しい気持ちです。子どもへの言い回しの件は、職員会議の際に周知したので、再度同じことが無いよう話しをさせて頂きました。駐車場の件に関しては、寺院への打診はしておきました。ただし、お盆やお彼岸、葬送告別式の際は、そもそも寺院・檀家さんなどがメインで使用するために購入した土地となりますので、必ずしも園の送迎者の希望に沿えるとは限りません。駐車場のスムーズな使用を行えるよう出来る限りの努力は致しますが、保護者の方もおしゃべりや、子どもを遊ばせて帰らないようにして下さい。よろしくお願ひ申し上げます。
- ・園の評価を前向きな選択にという件ですが、選択の言い直しなどはあまり気にしておりませんでしたので、ご意見があった事を踏まえて修正出来る箇所は修正していきたいと思ひます。

皆さまの貴重なご意見をありがとうございます。